

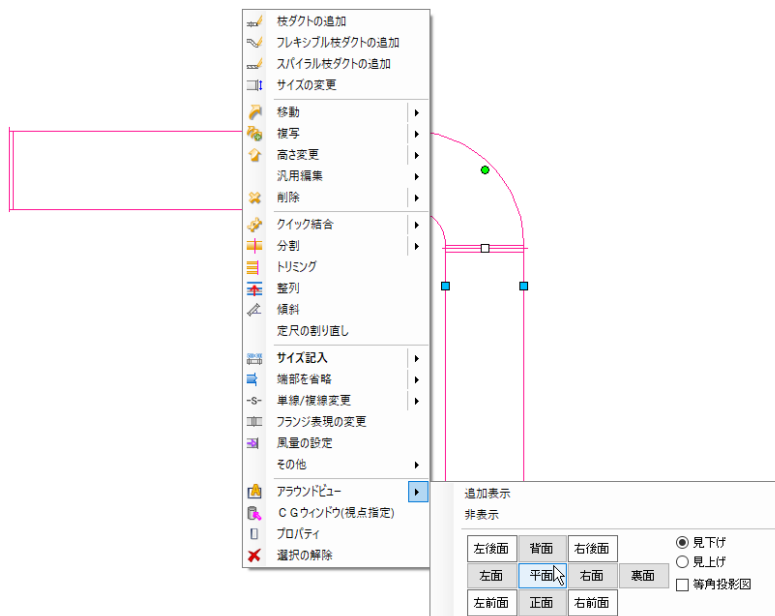
Q ダクトや配管を汎用図形に変換したい

A1 アラウンドビューから「ビューの作成(汎用図形に変換)」でビューを作成します

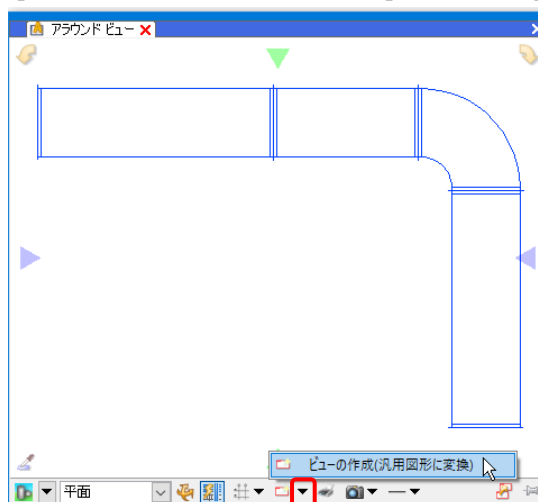
A2 DWG/DXF/JWW などの他形式ファイルで保存し、読み込みます

▼A1 アラウンドビューから「ビューの作成(汎用図形に変換)」でビューを作成します

- 1 汎用図形に変換したいダクトや配管を選択します。
コンテキストメニューから[アラウンドビュー]を選択し、アラウンドビューを表示します。

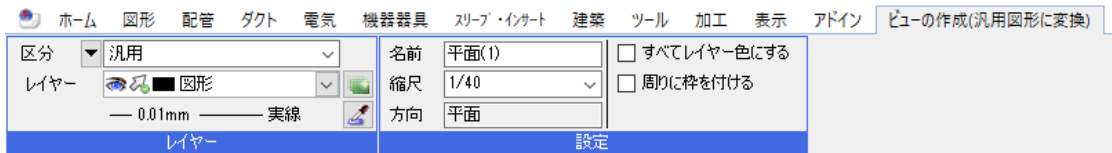


- 2 [アラウンドビューからビューの作成] 横の▼から[ビューの作成(汎用図形に変換)]を選択します。



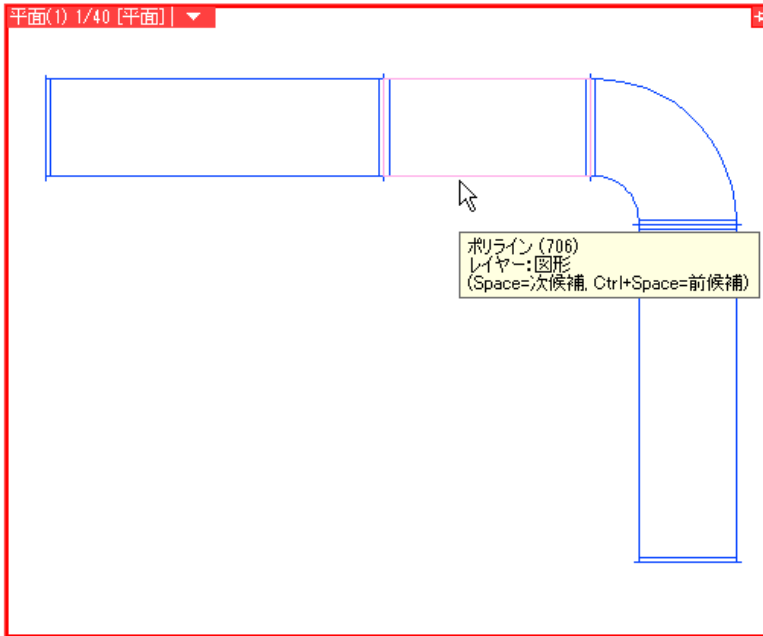
3

リボンで要素のレイヤー、ビューの縮尺等を設定します。



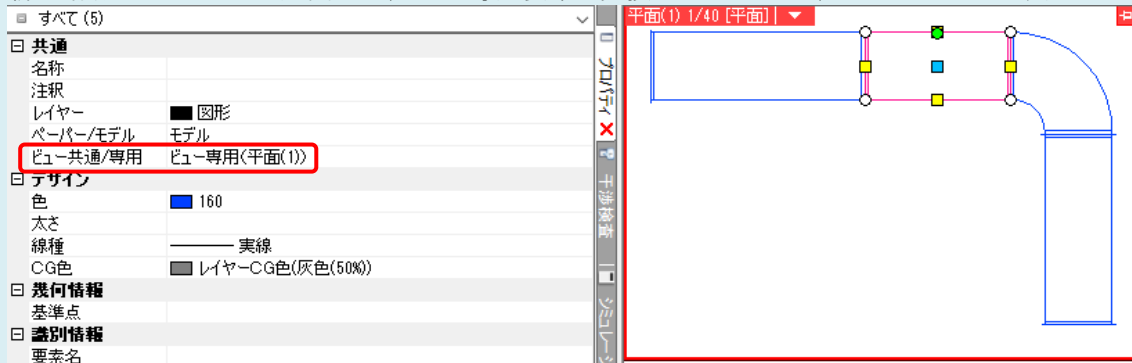
4

ビューの配置位置を指定し、新しいビューを作成します。
新たに作成したビューの中の要素は、汎用図形に変換されます。



●補足説明

新しく作成したビューの汎用図形は、ビュー専用要素に変換されているため、元のビュー上には表示されません。



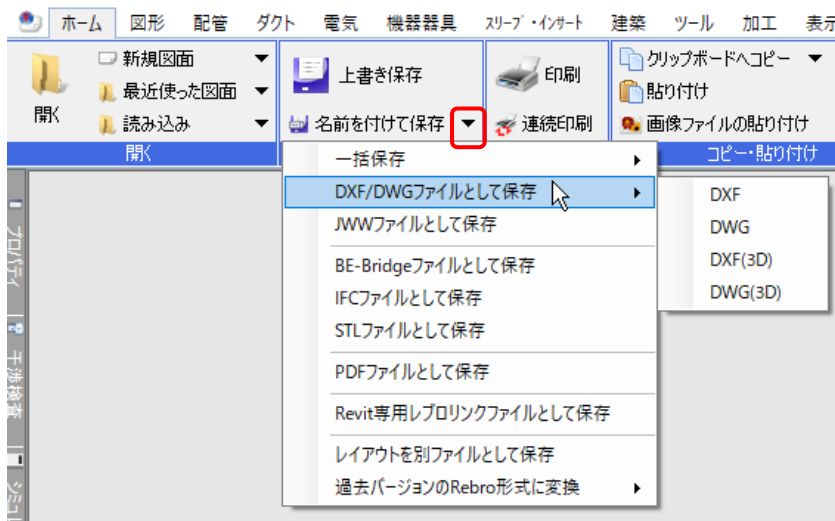
同じ位置に重ねて配置されているため、「ビュー共通」に変更した場合は、元のビューの配管やダクトと同じ位置に表示されます。

▼A2 DWG/DXF/JWW などの他形式ファイルで保存し、読み込みます

DWG/DXF/JWW で保存をすると、図面全体が汎用図形に変換して保存されます。

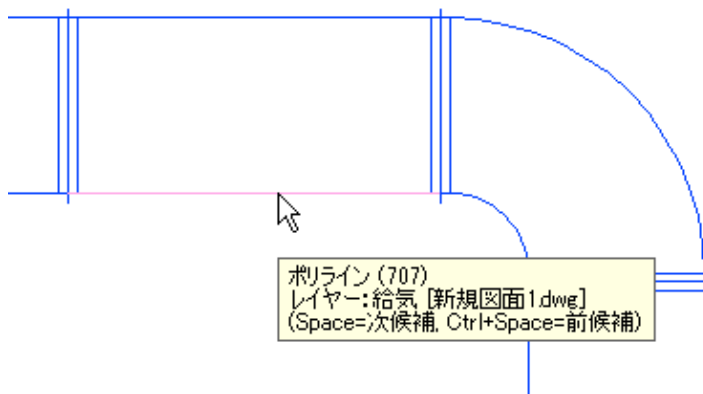
1

[ホーム]タブ-[名前を付けて保存]横の▼から DXF/DWG/JWW のいずれかを選択し、保存します。



2

保存した図面を読み込むと、汎用図形として読み込まれます。



※DXF、DWG で保存すると、2D の汎用図形に変換されます。DXF(3D)、DWG(3D)で保存すると立体図形の汎用図形に変換されます。